

今からすぐにやってみよう！

今すぐできる

～農作業事故の対面調査から得られた事故防止対策～

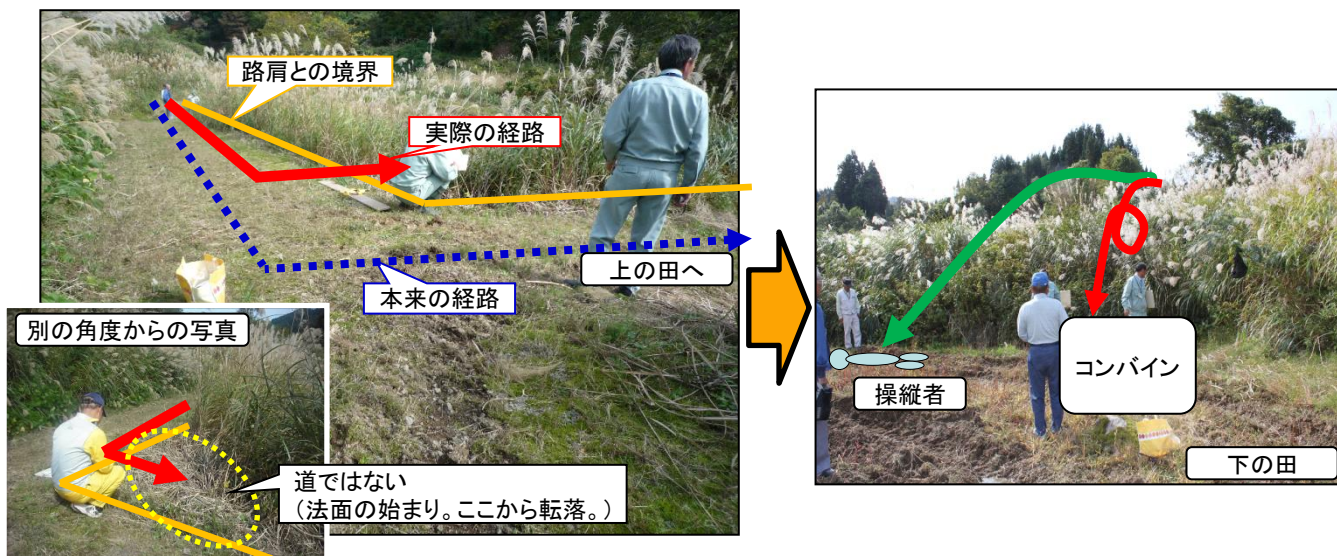
危険な場所にはポール等の目印を！

コンバインが路肩を踏み外して転落し、運転者が死亡する事例がありました。路肩の草で農道と路肩の境が分かりにくかったことが原因の1つでした。

路肩が明確になるように農道脇の草刈りを行うのは勿論のこと、ポールを立てるなど、危険箇所の「見える化」を進めましょう。

(事例)

汎用コンバインでソバの収穫作業中、下の田から上の田に移動する際に、上の田の進入路手前(草が生えており進入路と路肩の境界が分かりにくかった)でハンドルを切り、落差2.6m、法面7mの斜面を1回転して転落。操縦者はコンバインから投げ出され、死亡した。



日頃から身の回りの危険箇所を把握し、以下のような取組を行いましょう。

- ・路肩が明確になるように草刈りを行うとともにポール等を設置する
- ・刈払機の飛び石防止、キックバック防止等のため、測量杭等の障害物の側に棒を立てる
- ・果樹園等の樹木の支線への衝突を防止するため、支線にテープを巻く



この他にも農作業安全情報をHPに掲載！

農水省 農作業安全

検索